

第3回 情報推進常任委員会会議録

平成30年10月22日(月)

委員会会議室

○会議日程

- 1 開会宣告(13時00分)
- 2 協議事項
(1) 青年部との意見交換会について
- 3 閉会宣告(13時49分)

○出席委員(7名)

委員長	2番	西澤裕之
副委員長	5番	鷺見悟
委員	1番	富樫直敏
委員	4番	無量谷隆
委員	6番	吉原哲男
委員	7番	高橋秀之
委員	8番	植村敦

○途中出席(1名)

委員	3番	斎賀弘孝
----	----	------

○議会事務局出席者

事務局長	藤田秀紀
主事	満保希来

西澤委員長

時間になりました。

常任委員会の定足数に達しておりますので、ただいまから第3回情報推進常任委員会を開会いたします。

本日の議題は、昨日の議員協議会でお話をさせていただきました、農協青年部と商工会青年部との意見交換会についてを協議事項といたします。

事務局のほうで、各種資料用意していただきました。

昨年、老人クラブ連合会との意見交換会ということで、その内容がございますけれども、事務局お願いします。

藤田議会事務局長

少し説明させていただきます。

昨年の老人クラブ連合会との意見交換会の時は無かった、通常の会議とかやる時は、レジュメって、こういう趣旨ですとか、式次第ですとか、資料ですとか、そういうのをやるんですけれども、去年はありませんでした。

それで無くて、2枚目にあります、各常任委員会のその年の調査事項についての説明資料をつけていました。

それで、今年どういう形で会議を進めるのか。私個人的に考えるのは、正式な議員の活動ですから、レジュメ程度は作ったほうがいいんじゃないかと。昨年の顛末のほうでは、簡単なものを作っているんですけれども。この程度のものは、作ったほうがいいんじゃないかって、考えているのと、そのほかに例えば、どういう説明をするのか。その意見交換会で、昨年同様に各常任委員長から、常任委員会の活動について、まずは冒頭説明していくのか。

または、1番下についております、議員の活動状況って事務局のほうで、今年作っているんですけれども、それに応じて、議員活動を説明していくのかと思うんですけれども。資料としては、私が個人的に考えるのは、2通りあるんじゃないかなと思ってまして、その辺を皆さんにご協議いただいて、どんな形のを提出して、どうやって話を進めて、どういう式次第で進めていくのかっていうのを決めていただかないと、私のほうで資料の作りようがないというところがございますので、その辺の協議をお願いしたいと思います。

西澤委員長

という事務局のほうの説明がございました。

今、この議員活動状況というところで中身を見てみますと、今年度の活動が載っております、委員会の中の主な内容というところもありますので、例えば前回みたいに、まちづくり常任委員会で、抜粋して説明したようなことは、資料としては、この中の資料でありますので、そこを委員長が抜粋して説明していくというような形でも、なりうるかなというふうには思って見ていましたが、皆さんご意見でしょうか。

(一 同 無 言)

その当日の意見交換会の資料レジュメといたしましては、前回になかったということで、両青年部の事務局長ともお話ししたときに、何を話すかっていうような感じのこういうレジュメは、やっぱり必要だなというふうに感じてますので、これは今回、レジュメを用意して、やっていきたいというふうに思います。

その資料なんですけれども、今、事務局から言った、議員活動状況の中で、網羅されていますので、改めて、こういうような両常任委員会のこういう資料を用意しなくても、議員活動の状況の中では、入っているの、議員活動状況ということで、資料提供していけばいいのかなというふうに思いますけど、その辺どうでしょうか。よろしいですか。

植村委員

今、委員長が提案されているように、限られた時間の意見交換ということもありますので、おそらく、青年部ということになると、夕方の仕事の時間も影響あると思いますので、有効に時間を利用して、両委員長の説明は、活動報告に目を通してもらうということで、割愛させて進めていくという方向でよろしいんでないでしょうか。

協議事項に関しては、何点かレジュメであげたほうが、意見交換の折には、参考になるのかなというふうに思いますんで、こういうことについて意見交換しますということで、2、3点あげて、最後、その他という形で、進めていけばいいのかなと思いますけども、どうでしょう。

西澤委員長

すいません。話が前後してしまいますけれども、10月27日の意見交換会の開催の想定といたしましては、1時半に集合していただいて、両青年部に議場と委員会議室を見学していただいて、それから、意見交換会に入りたいなというふうに考えております。

なかなか傍聴されている方は、いないかなというふうに思いますので、議場の雰囲気とか、この委員会議室の雰囲気ということをまず、見学をしていただいてからの意見交換会にしたいなというふうに考えていますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、そういう流れでいきます。

今、植村委員から話が出た、レジュメの中に協議事項をいくつか、明記したほうが良いのではないかとということでもありますので、その中身、協議する事項に関しまして、意見ございましたらお願いをいたします。

植村委員

例で言えば、若い青年部の人達が対象ということなんで、まず、議会としても、7、8回検討会を重ねてきた議員改革、なり手不足に関する状況を報告しながら、何か若い人の考えている中で、良い案はないかということをもつて1つの議題に持っていくことも考えられるかなと。

もう1つは、これからのまちづくりということの中で、今、町長が進めようとしている、バイオマス都市構想。それと、まちを活性化させるための集客施設の構想。この大きな構想2つあるんですけども、それらについても、若い人達の考えていることを聞ければ良いかなというふうに思いますけども、どうでしょう。

西澤委員長

植村委員からありましたようなバイオマス都市構想と、もう1点は、集客するっていう拠点づくりというのは、観光の拠点づくりということでもよろしいでしょうか。

(植村委員「はい」)

そのほかご意見ございませんか。

高橋委員

今出た、議長が言った、そういうものについては、話し合うのはいいんですけど、向こう

の農協青年部と商工会青年部が、何かこういうことについて、話してみたいということがあれば、それを聞けるなら、聞いてもらって、そっちの方を先に意見交換をしたほうが良いと思うんですけど。

うちらから勝手に題をやって、向こうはそうじゃなくて、こっちが聞きたかったのこうなんだよって言われたら困るんで、最初から聞いててもらえると、こっちも考えることができるんで、そういうことが時間があってできるのであれば、まず、向こうがどういう内容を聞きたいのかっていうのを聞いてもらえればと思うんですけど、どうでしょうかね。

西澤委員長

ただですね、この話を持っていってるのが、議会側からなので、両青年部のほうから、何か言いたいことありませんかっていうのは、何についてですかっていう話にどうしてもなってしまうと思うんですね。だから、議会に対してなのか、今の町、幌延町全般に対してなのか。その辺を絞ってあげないと。ただ、青年部何回か言いたいことありませんか、それを事前に教えてくださって言っても、なかなかちょっとぴんとこないのかなっていうか、事務局と話した時には、どういう内容で、この意見交換会をするんですかっていうふうに、逆にこちらに言われたので、青年部側としては、こちらから議会に対して意見があるっていうような感じのスタンスではなくて、議会と両青年部で、意見交換会するにあたり、議会側から来た話なので、というようなスタンスではいると思いますね。

富樫委員

農協青年部でね、4、5日前だったか、議会と意見交換会やるんだけど、何か要望、意見はありませんかっていうのをファックスで流してるんです。だから、それなりに青年部だったら、加藤部長あたり聞けば、そこそこは出てくるとは思います。そしたら、あらかじめ用意はできるし。

西澤委員長

わかりました。そのファックスが流れたということで、何か意見がありますかということを確認をしてみます。

植村委員

今の農協青年部のほうの話は、それなりにわかったんですけども、商工青年部のほうはどういう話し方してるのか

西澤委員長

商工青年部のほうにも流れてるはずですよ。きちんと意見交換会ありますという話で。

植村委員

中身何か意見ありますかかってような。

西澤委員長

どういう話になりますかって話があったので、今、話の中で出てきているような、議会改革だったり、両常任委員会の報告等を踏まえた上での何か意見交換会っていう話で、進めていきたいという話をしてはいますが、その文章についてちょっと確認をしていませんので。

ただ、議会との意見交換会っていうのは、ちゃんと流れています。

植村委員

ということであれば、先ほど高橋委員が言ったようなことで、出席者はそれなりに何かこう考えるものを持って来てもらえるのかなと思うんで、委員長のほうから、もし事前にどう

いう質問も出るか、各青年部長に聞いてわかるのであれば、収集して、それに対応していく方法でどうですか。

西澤委員長

はい。承知しました。

その他協議事項の中身で何かありませんか。

富樫委員

商工会の青年部長って誰だ。

西澤委員長

今は宮本佳和さんといひまして、道北物流に勤めております。

協議事項も今の出たを2つ、議会改革を進めている報告の中で、両青年部に意見を聞きたいということと、今、町が行おうとしております、バイオマス都市構想及び、観光の拠点づくりというところの話を青年部との意見交換会に。

それと、事前に両青年部長から、話が聞ければ、それに対応するような、中身を事前にあげたら、あげたいというふうに思いますが、今、確実に出ているのは、植村委員から話された、議会改革の報告と、それを結びつける意見交換会のこの議会改革の報告は、これは議長から説明ということでよろしいでしょうか。

(植村委員「はい」)

それと、バイオマス都市構想及び、観光拠点の進めているところの話というのは、どういたしましょうか。

(「斎賀君とか」の声あり)

ただし、あれですよ。観光の拠点づくりの話にしても、斎賀委員は、参加していないし、議会のほうには説明がないので、なかなかまちづくり委員長から説明できませんよね。

一旦休憩します。

(13時18分 休 憩)

(斎賀委員入場)

(13時29分 開 議)

休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、レジュメに沿って、整理させていただきます。

老人クラブ連合会との意見交換会という資料を見ていただいて、1、挨拶。2、自己紹介
3、挨拶というふうにございます。

まず、議長から挨拶をし、自己紹介があり、老人クラブのときは、御一方だったので、老人クラブ連合会の木村さんにご挨拶をいただいたという話になっております。

まず、ここから決めていきます。

議長の挨拶はありでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

自己紹介をし、3番の挨拶というのは、どういたします。そもそも、向こうからの挨拶って要りますか。この間行ったとき、老人クラブ連合会のとき、向こうから挨拶したいですってあったので、ちょっとびっくりしたんですけど。

(植村委員「若い人嫌がる」)

両青年部との挨拶は無しでいいですか。

(「はい」の声あり)

自己紹介の後にこの資料を両青年部の出席の方にお渡しはしておきます。

議会報告ですよね、常任委員会報告をこの中からしていくのか、それとも協議事項に入っていくのかというところなんです、どういたしましょうか。

(高橋委員「さっとしたほうがいい」)

まちづくり常任委員会と情報推進常任委員会の今年度の活動をさっと報告し、その中身については、レジュメを作るに当たって、前回の老人クラブの時のように、何点か抜粋していかなきゃならないのかなというふうに思いますが、事前に。時間がないですけど、斎賀委員長できますか。

斎賀委員

時間がないのであれば、5分なら5分、委員会でそれぞれ喋ってくださいで、良いです。

西澤委員長

承知しました。時間がないので、このレジュメに載せるのではなくて、(1)(2)(3)(4)ではなく、1、まちづくり常任委員会報告、斎賀委員長。2、情報推進常任委員会報告として西澤ということで、その中身については委員長に任すというご意見がありましたけど、それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

藤田議会事務局長

実は、29年、30年って、常任委員会の活動を皆さんのお手元に配付してまして、資料をどうするか、常任委員会だけに絞るのであれば、それで十分だと思うんです。議員の活動状況を全体的に説明するっていうのであれば、私が作ったやつがいいのかもしれないんですけども、常任委員会に絞るなら、お手元に配ってますけど、平成29年の情報推進常任委員会と30年の今までのやつと、2ページ目にまちづくり常任委員会の29年、30年で、事前に作っておいたんですよ。もし、これで良いんだったら、これで説明はできると思うんです、各常任委員長が。そうじゃないよって、実はこの議員活動状況を1冊配付して、それでいいからと。それを見ながら、各常任委員長が説明するっていうなら、それでもいいです。

事務局としては、両方準備できてますので、両方なのか、それとも、議員活動なのか、それとも、常任委員会だけのレジュメで良いのか、その辺を決めていただければ、皆さんのご希望に合う形で、事務局のほうで準備できます。

西澤委員長

この議員活動状況っていうのが、ずっと作っていただいているので、これをぜひ。私としては出席してくれた方に渡したいっていう思いがあって、それは、議員の活動の状況がわかるっていうのも1つあるので、なのでこれをどうしても出したいというか、お渡ししたいっていう中の1つなんです。議会報の委員会報告とかっていうことだけではなくて、これを見ると議員の活動、議会の活動が見えるので。これをぜひ、お渡ししたいというふうに思っておりましたが、どうでしょう。

植村委員

今、委員長が言う形で良いと思います。

先ほどの各委員長が5分以内で、活動報告をこれ中心にざっと話すということなんで、そのほかの資料として、これを添付する。委員長が言ったように、ぜひ皆さんに添付するとい

うことで良いんでないでしょうか。2部、両方とも使うということで。

西澤委員長

はい。両方とも使うということですね。

ちょっと休憩します。

(13時35分 休 憩)

(13時39分 開 議)

休憩を解いて会議を再開いたします。

それではレジュメなんですけれども、レジュメ及び資料を議員を抜かした、20部用意していただいてという話になります。

今言ったように、まちづくり常任委員会の報告があり、情報推進常任委員会の報告をし、協議事項ということで、まず、議会改革のやってきた報告を議長のほうからしていただいて、意見交換する。

次に、バイオマス都市構想に関して、斎賀委員長が報告をし、意見交換をする。そして、観光の拠点づくりを私が説明して、意見交換会をしていきます。

先ほど高橋委員がおっしゃっていた、事前にわかればという話で、それに基づいて、意見を用意しておいたら、という話でしたのでこれはやってはみますが、このレジュメには結局載らないということでご了承ください。

ということで、閉会に行って、挨拶が高橋副議長というふうになっておりますが、これも変更なしでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ということで、閉会の挨拶を高橋副議長ということで、これでレジュメは完成をするという話になります。

資料は先ほど言った、29年と30年の途中までの活動を載せたものと、議員の活動状況ということの、この2部を資料として用意をします。

その他、意見交換会に関して、意見ございませんか。

斎賀委員

両青年部からね、意見交換会って書いてあるんだけど、何か意見交換したい何か、要望か何かあるんですか。

西澤委員長

それは、先ほど高橋委員がおっしゃったことで、意見交換会するに当たり、両青年部がどういう意見があるのかっていうのを事前に聞いたら聞いて、それに対する答えを用意していたほうがいいんじゃないかという話は、先ほどされたんですけれども、先ほど説明したとおり、この話の持っていく方が、議会からお話を持っていった話なので、向こうから議会でも意見交換をしたいっていう話ではないので。そういうところに何とか事前に把握はしておりません。

ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

ないですか。

では、これで当日27日いきますが、先ほど言ったとおり、1時半開始になりますので、議員は1時でよろしいでしょうか。1時半から集合して、見学になるので。

意見交換会の場所なんですけれども、最初は和室を考えていたんですが、足の悪い方もいらっしゃるの。人数見て委員会室ということもありえますか。その方が録音しやすいのしやすいんですけど。座れる人数だと本当に寂しいですけど。

座れるとしたら、委員会室のほうがいいですか。座れなければ、和室にしますか。

植村委員

ただで使うわけにいかないのでは、ここはともかくとして、和室の場合は総務に。

藤田議会事務局長

申し込みました。

西澤委員長

ありがとうございます。

和室のほうが近いかなと思ったんです。和室嫌ですか。椅子はもちろん用意はしますけど。

こういう離れた感じよりも、近い感じがして、話しやすいかなというに思ったんですけど。

鷺見副委員長

あそこ広いから、あんまり人少なかったら必要ないし。

西澤委員長

じゃあ、1時に集合して、両方セッティングするということによろしいですか。

和室もセッティングしとくし、ここもセッティングして、どちらでも対応できるようにということによろしいですか。

(「はい」の声あり)

植村委員

お茶はぐらいは出すんでしょ。

(西澤委員長「はい」)

ということであれば、ここでは飲めないよね。

西澤委員長

そうですね。飲食禁止です。

植村委員

最初から和室借りてあるんだから、和室でテーブル出して、用意しておいた方が良いんじゃないんですか。広いだろうと、何しよう。

西澤委員長

他に意見がなければ決定しますが、どうでしょうか。

(「いいです」の声あり)

ないですか。いいですか。

では、和室で意見交換会を行うということで決定します。

そのほかありませんか。

(一同無言)

では、27日1時集合でよろしくお願ひします。

(「はい」の声あり)

藤田議会事務局長

1番後に、今年の老人クラブ連合会との意見交換の会議、顛末をつけてます。

ぜひ皆さんに、読んでいてほしいというのは、意見交換会の中で、相手から出されたこ

と。意見だとか要望だとかに対して、議会としてこういうふうに取り組むだとか、今までこういうふうに取り組んできたとか、結構そういう発言があります。

その老人クラブで出された要望に対して、私たちは何か議論してるんでしょうか。聞きっぱなしっていうことは、ないでしょうか。

それを事務局として、1回ざっと読んだんですけど、今年の振り返りということですね。議会としての前向きな発言しております、質問に対しても、結構前向きなお答えを結構しております、本当に無責任な状態になってないかっていうのを一度皆さんに振り返っていただきたいっていうのと、注意してもらいたいことが1つありまして、行政が行政として、いろいろな施策を展開して、もちろん議員の皆さんも、それは十分把握してるとは思うんですけども、アレっていうようなことも結構議会側で答えております。

例えばですね。執行機関と議会とは立場が違うわけですね。その辺が本当に無責任な対応になってないかどうかっていうのを今一度、今年のを見ていただいて、今後も議会としては、議長が答弁してるんですけども、年代ですとか、いろんな団体、集まりに応じて、議会としては、意見を聞いていくと。町政懇談会段階とは違うような形で、今後も意見交換を進めていくっていう発言が出てきてます。本当にそういう考え方でやってるんでしょうけれども、その辺も今年の発言、皆さんの発言出ておりますので、テープ起こしをしたやつですから、間違いなく発言が書かれていますから、その辺は今後の皆さんの方針とちゃんと合致しているのか。また、聞きっぱなしで、本当に終わってないのかっていうのを確認してください。

立場が、行政サイドとは違うから、発言の要旨もそれなりに工夫しなければならない部分ってあると思うんです。その辺も含めてですね、そんな時間かからないで読めますから、呼んでいただいて、今後の意見交換会を参考にしてほしいなと思って、皆さんの分作って、お手元に配付しましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

西澤委員長

それでは、第3回情報推進常任委員会をこれで閉じたいと思ひます。

お疲れさまでした。

(13時49分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 西澤裕之

以上、記録する。

主事 満保希来